

## 平成29年(2017年)度事業報告書

平成29年8月1日から平成30年7月31日まで



特別非営利活動法人  
東京ノーヴィ・レパートリーシアター

### 1. 事業の成果

最初に、当年度も非常に濃密な創造活動を展開することができた一年であったことを報告させていただきます。同時に、その創造活動の中心でいつも精力的に活躍されている私たちの芸術監督 L・アニシモフ氏に対して、心からの感謝を送りたいと思います。

現在、平成30年度事業として、ロシア公演の準備が進められています。ノヴゴロド市では「第22回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭」正式招聘作品としてドストエフスキー『白痴』が、モスクワ市では「第20回“日本の心”国際音楽祭」正式招聘作品として日本神話『古事記』が上演されます。

特に2018年は「ロシアにおける日本年」にあたるため、今回、私たちがロシアで上演するすべての公演は、日本外務省主催の「ロシアにおける日本年」事業として認定を受けております。

物質文明の発展はIT技術の進歩により、今や誰にも予測できない時代に突入しています。この時代において、「人間の精神」を表現する演劇芸術は、どのような道を歩んでいくのか。2020年のオリンピック開催を控え、今の日本において、私たちがのような芸術団体は国際的により重要な役割を求められることでしょう。

創造活動における私たちのスタンスは非常にシンプルなものです。— “人間の精神生活の追求と表現”。これが、演劇が現代社会から求められている課題です。けれどもその道のりは容易ではありません。多くの方々の助けがなければ目的地に行き着くことはできません。皆様のご賛同、ご協力を心より願っております。

理事長 岡崎弘司

### 2. 事業の実施に関する事項 (特定非営利活動に関わる事業)

#### <演劇の公演事業(定款5条-1)>

【注】原則として、ここでは主に「自主企画公演を中心とした活動」を取り上げています。

「地域との連携活動による依頼公演」は「地域文化支援事業」、海外公演などの「国際交流活動に基づく公演」は「国際文化交流事業」というように、それぞれの活動の趣旨にもとづき、該当する事業活動の中で紹介しています。

#### ■ 古典の素晴らしさを多くの人々に広めるための活動 (レパートリー公演活動)



渋谷さくらホールにて(2017年11月)

わたしたちの劇団では、一貫して古典作家の中でも“天才”と称されるような、偉大な作家の作品を厳選して上演しております。作品に内在する、優れた思想、テーマを、「生き生きとした感情をもって現代に届けること」を目的としています。

当年度は、6年ぶりの復活上演となった、ゴーリキー作『どん底』で幕を開けました。私たちの劇団は、2003年、日露米3カ国のコラボレーション『どん底』公演から始まり、言ってみれば、私たちはこの作品をもって生まれたとも言えます。今回この素晴らしい作品を再び上演することができたことは本当に幸せなことだと思えます。

今回の演出では舞台上の進行と並行して映像を流し、観客に大きなインパクトを与えました。

「映像にアイデアが。ラストのシーンが最高！（男性／50代／フォトグラファー）」

「役者さんのレイアウト、背景の映像、全てが美しい芸術作品でした。感動しました。（女性）」

「嘆く女と、亡くなろうとしている女。映像が激しく、静かだった。人間はでっかい、伝わりました。カラーの演技とモノクロの大きなドキュメントがおもしろかった。見上げるとカーテンに神のような映像がありました（男性／50代／兼業漁師）」



渋谷さくらホールにて（2017年11月）

また、本拠地アトリエでは今年2月に、宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、近松門左衛門『曾根崎心中』を上演。その後、ギリシャ悲劇の『アンティゴネー』『メデリア』を3月、4月と連続して上演しました。これらの作品の上演と並行して、山梨での『アンティゴネー』、能楽堂での『桜の園』公演のリハーサルを進めました。当年度もたいへん充実した創造活動を展開できたと思います。



下北沢アトリエにて（2018年3月）

さてラストは能楽堂におけるチーフ『桜の園』の紹介です（2018 ロシア文化フェスティバル作品）。ヨーロッパ近代劇の代表作ともいえるチーフ「桜の園」を、能楽堂という空間で、日本的な表現様式とマッチさせたこの舞台は、多くのお客様に驚きと称賛をもって迎えられました。東西文化の融合へ向けて、新たな可能性を示唆できたのではないかと思います。

「音楽が見事に劇の内容と融合して、とても良かったです。衣装も美しく、俳優の方も皆さんそれぞれすごく良かったです。（男性）」

「幽玄の世界ですばらしいと思いました。目にはみえない世界のことが、よくわかった気がします。「一生を通りすぎてしまった。命を生きる想いが無い」という言葉が印象的でした。（女性/50代/自営業）」



「4年前に「古事記」を観て以来、機会がなかったのですが、その時以上に、能舞台という空間を上手く使いこなしていて、始終驚かずにいられてました。詩的なものより、（能舞台では）チーフ演劇の方が適していると思います。（男性/20代/学生）」



「『桜の園』は、ロシアのみならず、いろいろ拝見してきました。が、これは“ロシアの芝居”という観念から解き放たれることがありませんでした。本日の公演で、遂にこの芝居が不偏化されたと、深い感銘を受けました。ただ、能の関係者がどう評価するのか心配ではあります。更なる工夫（動き、セリフ etc）が必要ではないかと思えます。いつの日か、世界中で上演されることを夢見ます。ご活躍にスタンディングオベーションを！！（女性/70代/エッセイスト、翻訳）」



梅若能楽堂にて（2018年5月）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇の公演事業	＜古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動＞ ゴーリキー作『どん底』公演	平成 29 年 11 月 29 日 (1 公演)	渋谷さくらホール (東京都渋谷区)	35 人	一般 510 人	9,325 (千円)
	＜古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動＞【2018 年下北沢演劇祭参加】 宮沢賢治作『銀河鉄道の夜』公演	平成 30 年 2 月 1～4 日 (5 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	35 人	一般 118 人	
	＜古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動＞【2018 年下北沢演劇祭参加】 近松門左衛門作『曾根崎心中』公演	平成 30 年 2 月 22～25 日 (5 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	35 人	一般 110 人	
	＜古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動＞ ソポクレス作『アンティゴネ』公演	平成 30 年 3 月 22～24 日 (3 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	35 人	一般 63 人	
	＜古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動＞ エウリピデス作『メデイア』公演	平成 30 年 4 月 19～21 日 (3 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	35 人	一般 78 人	
	＜古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動＞ 能楽堂『チェーホフ～桜の園より』公演 (2018 ロシア文化フェスティバル)	平成 30 年 5 月 26 日 (1 公演)	梅若能楽学院会館 (東京都中野区)	35 人	一般 263 人	

### ＜演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款 5 条-2）＞

【注】原則として、ここでは「地元本拠地で、年間継続して行っている人材育成支援活動」を主に扱い、「地域からの要請で開催されるワークショップ活動など」は「地域文化支援事業」の欄で扱っています。

#### 1) アカデミーの運営による芸術家育成活動（定款 5 条 2 項 (ア) 演劇芸術に関わる教育機関の運営）



私たちは、スタニスラフスキーシステムの研究および人材育成機関として、「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」を開校しています。より現代的な要請に合わせ、「演技コース」に加え「映像コース」を併設しています（主任講師兼アカデミー校長：ロシア功労芸術家、レオニード・アニシモフ／映像コースの担当講師は『かみさまとのやくそく』の映画監督、荻久保則男氏）。当年度は、第 5 期生を対象に開校しました。

#### 2) 演劇クラスを通しての社会人支援活動（定款 5 条 2 項 (イ) セミナー、ワークショップの開催）



昨年度より「スタニスラフスキー・スタジオ」と名称を変えました。一般の方たちが、より高度な演劇教育を受けることができる場所を提供しています。

現在、アイルランドの劇作家 T・マーフィー作『バリヤガンガーラ～笑いのない町～』と並行して、加賀乙彦先生の長編小説『宣告』の舞台化が進められています。  
(スタジオ指導者：菅沢晃)

3) その他の一般セミナーや講師の派遣（定款5条2項(ウ)演劇文化普及及び教育の為の講師派遣）

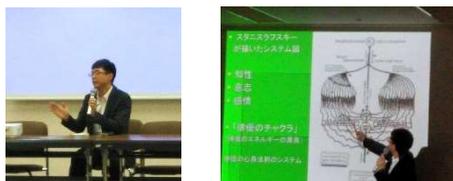
当年度は、金沢で開催された、シャンソン歌手を対象とした特別セミナーに講師を派遣しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関わる人材育成支援事業	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」 日本で唯一、ロシアの一流演劇大学と同じ水準でスタニスラフスキー・システムを学ぶことができる、本格的なアカデミーを開校、運営（当期は、第5期生対象）。	通年	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	8人	一般 15人	5,215 (千円)
	【演劇文化普及及び教育の為の講師派遣】 シャンソン歌手渡辺歌子氏の要請を受けて、金沢でのセミナーに講師を派遣。	平成29年 10月28日(1回)	金沢市文化ホール 会議室 (石川県金沢市)	2人	一般 40人	
	【セミナー、ワークショップの開催】 <「スタニスラフスキー・スタジオ」の運営 > アイルランドの劇作家T・マーフィー作『バリヤガンガーラ〜笑いのない町〜』上演のほか、加賀乙彦原作『宣告』の舞台化を進める。	(通年)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	3人	一般 5人	

<演劇芸術に関する情報発信事業（定款5条-3）>

国際シンポジウム「スタニスラフスキーシステムと演劇的身心変容技法」講演

(定款5条3項(イ)演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表)



上智大学にて（2017年9月）

上智大学グリーンケア研究所・科研「第60回身心変容技法研究会」において、当団体のメンバー上世博及が「スタニスラフスキーシステムと演劇的身心変容技法」というテーマでの講演を行いました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関する情報発信事業	【演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表】 「第60回身心変容技法研究会」において、「スタニスラフスキーシステムと演劇的身心変容技法」	平成29年 9月29日	上智大学 四谷キャンパス (東京都千代田区)	1人	一般 不特定多数	0 (千円)

### <演劇芸術を通しての国際文化交流事業（定款5条-4）>

市民レベルでの国際間文化交流は、現代社会において最も重要な仕事になってきています。異なる文化、歴史の違いを乗り越えて国際間で手をつなぐのは実は簡単なことではありません。それぞれの国が持つ素晴らしい文化を認め合い、互いに共有することが必要です。私たちは演劇芸術を通して、国際文化交流を進めています。

当年度は、平成30年11月に実施されるロシア公演の準備活動が進められました。

ドストエフスキー『白痴』がノヴゴロド市「第22回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭」に、日本神話『古事記』がモスクワ音楽院より「第20回“日本の心”国際音楽祭」へ正式に招聘されました。特に2018年は「ロシアにおける日本年」にあたるため、今回のロシア公演は、日本外務省主催の「ロシアにおける日本年」事業として認定を受けました。

「古事記」公演は、日本人の精神文化を伝えると同時に、平和の祈りをつなぐ儀式という側面を持っています。現在、東京ノーヴィ・レパートリーシアターでは、「古事記」の巡演活動を計画しており、今回のロシア再演を契機として、「祈りをつなぐ旅」というサブテーマをかかげ、国内外の各地へと上演活動を広げていく予定です。

また、上記のロシア公演と並行して、夢枕獯氏の代表作「陰陽師」が、第20回“日本の心”国際音楽祭に招聘されています。東京藝術大学の副学長を務めていられた故・松下功氏が音楽劇『鉄輪恋鬼輪舞（かなわぬこいおにのロンド）』として作曲。2015年に東京ノーヴィ・レパートリーシアターが上演させていただいた作品です。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての国際文化交流事業	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 （第22回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭） ドストエフスキー『白痴』招聘公演の準備活動 『古事記』招聘公演の準備活動	通年	ドストエフスキー記念アカデミー ドラマ劇場 フィルムモーター劇場 （ロシア国ノヴゴロド市） （予定）	40人	ロシア 一般市民 不特定多数 （予定）	34 （千円）
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 （第20回“日本の心”国際音楽祭参加） 『古事記』招聘公演の準備活動	通年	メイエルホドセンター （ロシア国モスクワ市） （予定）	40人	ロシア 一般市民 不特定多数 （予定）	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 （第20回“日本の心”国際音楽祭参加） 『鉄輪恋鬼輪舞』招聘公演の準備活動	通年	モスクワ音楽院ホール （ロシア国モスクワ市） （予定）	40人	ロシア 一般市民 不特定多数 （予定）	

### <演劇芸術を通しての地域文化支援事業（定款5条-5）>

#### 1) 山梨県北杜市「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」事業

山梨県北杜市では、長野県富士見町・原村と結んだ『八ヶ岳定住自立圏』形成に関する協定により、様々な分野での取組みを進めています。北杜市教育委員会からの要請を受け「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の事業に協力する形で公演を実施しています。当年度は、昨年11月に渋谷さくらホールで上演して好評をいただいたゴリキー作『どん底』を上演しました。



長坂コミュニティホールにて  
(2018年7月)



## 2) 山梨県北杜市におけるホームシアター活動

私たちは、地域での演劇鑑賞の新しいスタイルとして「ホームシアター」を提案しています。

(ホームシアターとは、劇場を使用せず、ギャラリーや個人宅などを利用して上演される、非日常体験を促す特殊な公演スタイルです)

前年度は、北杜市内の個人の美術ギャラリーをお借りして公演を実施しましたが、当年度は、山梨県清里にある萌木の村オルゴール博物館「ホール・オブ・ホールズ」で、ギリシャ悲劇『アンティゴネ』を上演しました。



オルゴール博物館ホールにて (2018年2月)

## 2) Xmas チャリティー公演

当年度も、地元でのXmas チャリティー公演を行いました。

当年度は、宮沢賢治の童話『鹿踊りの始まり』を披露しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての地域文化支援事業	山梨県のNPO 八ヶ岳知的財産研究所の招聘により、2回目のホームシアターを実現した。  ソポクレス作「アンティゴネ」公演	平成30年 2月17日 (1回)	萌木の村オルゴール博物館 (山梨県北杜市)	20人	一般市民 32人	2,634 (千円)
	<八ヶ岳定住自立圏 演劇鑑賞・体験交流促進事業> 北杜市教育委員会からの招聘を受けて、公演の実施および、演劇ワークショップを開催した。  ゴリキー作「どん底、」公演	平成30年 7月13日 (1回)	長坂コミュニティホール (山梨県北杜市)	40人	一般市民 (公演) 300人 (WS) 30人	
	<Xmas チャリティー公演> 恒例となった地元の子供たちを対象としたXmas チャリティー公演。当年度は、宮沢賢治作『鹿踊りの始まり』を上演。	平成29年 12月23日 (1公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	20人	親子等 20人	

### <演劇芸術に関わるネットワーク構築事業 (定款5条-6) >

当年度、実施せず。

### <その他、目的を達成するために必要な事業 (定款5条-7) >

当年度、実施せず。